

Research Studio GET program 2026

“Research Studio”では、医療系シーズに特化した人材育成プログラムを展開

医療系シーズに特化し、連携大学と協力して2018年から展開する起業人材育成プラットフォーム“Research Studio”では2024年に、国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)の「大学発医療系スタートアップ支援プログラム」に採択され、研究開発のレベルに応じた支援をGET(Global Entrepreneur Training)プログラムとして展開しています。

このプログラムでは、研究の構想段階でのニーズ探索から、開発計画策定(TPPコース)や事業計画策定(BPコース)、海外展開(UCSDコース)までを段階的にサポートし、各シーズの研究開発の進捗に応じて、適したタイミングで参加できる仕組みになっており、多様な専門分野で活躍するトップリーダーからなるメンター陣と、臨床医や起業経験者からなるファシリテーター・チューター陣が、医療系シーズの実用化を目指す起業人材に実践的なトレーニングを提供します。

6/13(土)開催の本イベントでは、「開発計画策定(TPP)コース」修了チームの成果発表と、次の「事業計画策定(BP)コース」参加チームの選抜を行います。

プログラム第2弾
TPPコース成果発表会/
BPコース参加者選考会

6/13(土) 9:30-17:00

日本橋ライフサイエンスハブ LSH-A会議室

中央区日本橋室町1丁目5-5
室町ちばぎん三井ビルディング8階

<https://www.nihonbashi-lifescience.jp/hub/>

参加費無料

ピッチ登壇エントリー
聴講申込はこちらから！



JOIN NOW

<https://resstplatform.org/research-studio/event/>

■ピッチ登壇者 エントリー締切■

5/26(火) 正午

■聴講者 申込締切■

6/8(月) 正午

Research Studio 8年間の実績

(FY2018~FY2024)

44 チーム 130 名 支援

起業 26 社 海外設立 3 社

資金調達 34 チーム 175 億円
総額

非臨床 POC取得 11 チーム 治験 実施中 3 チーム





対象者: 参加区分

①ピッチ登壇者 BPコース 参加希望者

- ・アカデミア発の医療シーズをもとに、起業を目指している方(シーズをお持ちの方、またはビジネス経験のある方)。
- ・7月以降に予定している「事業計画策定コース」の選考会として実施される本イベントに参加し、保有する医療シーズをブラッシュアップしたい方。

メリット

- ・講義やピッチに対するメンタリングを通じて、アイデアやシーズをより魅力的に磨き上げることができます。
- ・開発計画策定コースに採択されると、専門家による踏み込んだメンタリングを受けられます。
- ・聴講者の中からマッチング希望者と出会い、チームメンバーを増やすことができます。

②聴講者 講演聴講 & ピッチ観覧

- ・医療系シーズの開発・起業に関心があり、情報収集やネットワーキングを目的とする方。
- ・ビジネス/医療・臨床開発の経験を活かし、ピッチ登壇者チームへの参画(マッチング)を希望する方。
- ・学生等でインターン参加を希望する方。

メリット

- ・スタートアップに関心のある方が、将来に役立つ実践的な情報を得られます。
- ・講義やピッチに対するメンタリングを通じて、医療系シーズの研究開発プロセスを体系的に理解できます。
- ・今後のプログラムにインターンとして参加し、スタートアップの現場を間近で学ぶ機会があります。
- ・ネットワーキングを通じて人脈や新たなつながりを広がられます。

当日タイムテーブル (5/13暫定)

09:30	開場 *内容は予告せず変更されることがあります。予めご了承ください。
10:00	開会 ○開会あいさつ 町野 毅 筑波大学 橋渡し研究支援拠点長 ○来賓あいさつ TBD
(午前)	■ 講演 ■ ○医療エコシステム: 研究を社会実装につなぐための仕組み 高橋 俊一 氏(一般社団法人LINK-J常務理事 筑波大学客員教授) ○国内創薬ベンチャーの歩み— 挑戦の歴史・試行錯誤・学び— 曾我 孝利 氏(1Kイテッド・イミュニティ株式会社 取締役・最高科学責任者(CSO))
11:30頃	
昼休憩	1時間程度
12:30頃	(再開) ピッチ会 <5分(ピッチ)+10分(QA)> × 8名 開発計画策定(TPP)コース成果発表会 & 事業計画策定(BP)コース選考会 各チーム5分間のピッチで、シーズやプロジェクトをアピール ピッチ後のQ&Aセッションでは、専門の審査員が質疑を実施 すべてのピッチ終了後に審査を行い、BPコース参加者に採択
午後	パネルディスカッション(TBD) ネットワーキング 選考委員会(別室) ○BPコース採択者発表 ○開会あいさつ・フォトセッション 町野 毅 筑波大学 橋渡し研究支援拠点長
17:00	終了

講演について

医療エコシステム: 研究を社会実装につなぐための仕組み
高橋 俊一 氏 一般社団法人LINK-J常務理事 筑波大学 客員教授

一般社団法人LINK-J常務理事、筑波大学客員教授。バイエル薬品にて研究・臨床開発、メディカルアフケアーズ部長、オープンイノベーションセンター長を歴任。LINK-Jでは日本のライフサイエンスエコシステム醸成を推進。理学博士

国内創薬ベンチャーの歩み — 挑戦の歴史・試行錯誤・学び —
曾我 孝利 氏 ユナイテッド・イミュニティ株式会社 取締役・最高科学責任者(CSO)

アステラス製薬にてがん領域等の創薬研究、買収先米国内ベンチャーでの研究に従事。コーポレートベンチャーキャピタルにて欧米ベンチャーの評価・投資・提携を担当後、萌芽領域の研究ユニット長を務めた。2022年から現職。